

一加瀬 進プロフィール

東京学芸大学特別支援科学講座・教授

学部／教育支援専攻ソーシャルワークコース・特別支援教育特別専攻科・大学院／教育支援協働実践開発専攻・教育協働研究プログラム

研究室：総合教育科学系研究棟 2号館 1階 108室

TEL&FAX：042-329-7386//e-mail：skase@u-gakugei.ac.jp

Blog：<http://www.we-collaboration.com/>

<略歴>

1960年東京都荒川区生まれ。もんじゃと肉屋のコロッケで太る。

1987年3月東京学芸大学大学院修了（障害児教育学）。1987年12月より東京都江東通勤寮非常勤職員（アフターケア担当）となるが、その間に長女・冴子が誕生、生活苦に陥る。1989年3月より横浜国際福祉専門学校教員、神奈川県内・東京多摩地区の障害者施設関係者と知己を得るとともに、うっかり次女・涼子、長男・俊平が誕生する。1995年4月より京都教育大学教育学部発達障害学科助教授となり、地域生活支援システム・障害者ケアマネジメント体制整備推進事業に取り組む。2001年4月より東京学芸大学障害児教育学科助教授となって、支援費支給制度導入前後から障害者自立支援法にかけて、施策内容にかかわる厚生科学研究等に従事。2005年度から学部教育は社会福祉士養成（総合社会システム専攻）、大学院・特別専攻科は特別支援教育教員養成の双方を担当し、現在は福祉と教育をつなぐ研究・ムーブメントづくり＝WEコラボ！しませんか？を推進中。因みに2009年4月からレコーディング・ダイエットに取り組み10ヶ月で20kg超の減量に成功するも、一時期<加瀬・末期癌説>の対応に追われる。なお、2010年度からは東京学芸大学<子どもの問題>支援システム・プロジェクトの事業代表者として、スクールソーシャルワークを活用したチーム・アプローチによる子どもの問題の総合的な支援システムづくりを展開した。その後、2013年度からはこのプロジェクトを発展させ、多職種連携教育のカリキュラムや教材開発に取り組み、「協働教育支援学」の構築可能性についての研究プロジェクトに参画、2018年度にはその終着点&出発点である「日本教育支援協働学会」の立ち上げに加わった。あわせて新大学院の「教育支援協働実践開発専攻」の創設（2019年度開講）にも「教育協働プログラム」代表として携わっている。

専門は地域ケアシステム論、スウェーデンリソース学校研究、障害児性教育研究。

<主たる社会的活動>

平 7.6-18.5 「さぼーと」（財）日本知的障害者福祉協会機関誌）編集企画出版委員会専門委員

平 11.6-22.3 (NPO) 全国地域生活支援ネットワーク協議会会員・監事

平 11.6-13.3 労働省・厚生省/障害者就業・生活総合支援事業検討委員会委員

平 12.5-15.3 厚生労働省/障害者ケアマネジメント体制整備検討委員会他、関連委員会委員

平 15.11-21.3 放送大学、「障害者福祉論‘05」教材作成協力委員

平 15.4-18.3 国分寺市支援費支給決定に関する不服審査会委員長

平 16.4-現在 小金井市障害者福祉センター運営委員会会長

平 16.4-18.3 東大和市地域福祉審議会委員

平 16.4-18.8 国分寺市障害者計画見直し等検討委員会副委員長

平 17.4-19.3 国分寺市障害程度区分決定審査会委員

平 19.3-26.6 国分寺市障害者地域自立支援協議会会長
平 23.4-現在 小金井市障害者福祉センター・オンブズパーソン
平 28.4-30.3 立川市自立支援協議会副会長
平 31.4-現在 立川市医療的ケア児体制整備推進委員会会長
平 30.4-現在 東京学芸大学児童・生徒支援連携センター長

<主な著書・論文>

- ・ 松田恵示・大澤克美・加瀬進編著 (2016) 『教育支援とチームアプローチ-社会と協働する学校と子ども支援』、書肆クラルテ
- ・ 加瀬進、他 (2014) 「子ども・若者の貧困防止に関する事業の実施・運営に関する調査・研究事業」報告書、平成 25 年度厚生労働省社会福祉推進事業
- ・ 加瀬進、他 (2012) 「サポートブック」の活用実態に関する調査-WE コラボ研究 2011 研究報告書-、平成 23 年度厚生労働省障害者総合福祉推進事業
- ・ 加瀬進 (2012) 発達障害支援ネットワーク構築における 3 つの課題、(財) 日本都市センター 『発達障害支援ネットワーク構築に向けて』、16-27.
- ・ 加瀬進 (2011) スウェーデンにおける<インクルーシヴ教育>-「障害者権利条約第 24 条/教育」に対するスウェーデン政府公式見解を中心に、SNE ジャーナル、17、33-51.
- ・ 加瀬進 (2011) 特別支援教育と医療はどのように連携すべきか、小児看護、34 (9)、1180-1183.
- ・ 加瀬進 (2010) 特別支援教育の時代における多職種連携に関する研究課題の検討-小学校における多職種連携に関する聞き取り調査を手がかりに-、SNE ジャーナル、16、5-25.
- ・ 加瀬進 (2010) スウェーデン~ “En Skola för Alla” の情景は今~、発達障害研究、32 (2)、159-165
- ・ 加瀬進他 (2010) WE コラボ研究 2009 研究報告書-発達障害者を対象とした相談支援事業のあり方に関する研究、厚生労働省「平成 21 年度障害保健福祉推進事業 (障害者自立支援調査研究プロジェクト)」研究報告書
- ・ 加瀬進 (2009) スウェーデンの<リソース学校>と<分離的統合>に関する予備的研究-我が国への示唆と今後の研究課題を中心に-、SNE ジャーナル、15、157-171
- ・ 加瀬進編著 (2009) 福祉と教育の WE コラボ~障害児の<育ち>を支える、エンパワメント研究所
- ・ 加瀬進他 (2009) WE コラボ! しませんか? -地域自立支援協議会等を活用した<障害児個別支援計画>の作成に関する研究、厚生労働省「平成 20 年度障害保健福祉推進事業 (障害者自立支援調査研究プロジェクト)」研究報告書
- ・ 社公福祉士養成講座編集委員公編 (2009) 障害者に対する支援と障害者自立支援制度、中央法規、(第 5 章第 5 節分担執筆)
- ・ 鷺山恭彦・加瀬進・中渾智恵 (2008) 多様性をいかすスウェーデンの教員養成研究-インクルーシヴな社会に向けた協働的教育システム開発と求められる教員のコンピテンシーに関する目端共同プロジェクト、平成 19 年度大学教育の国際化推進プログラム (海外先進研究実践支援) 研究報告書
- ・ 古川者順編著 (2007) 生活支援の社会福祉学、有斐閣
- ・ 加瀬進 (2007) 「個別の教育支援計画」と「個別の支援計画」: チーム・アプローチの必要性~福祉分野からの提言~、発達障害研究、58(有)、344-352.
- ・ 加瀬進 (2005) 「行動援護」ガイドブック、日本知的障害者福祉協会、

- 大曾根寛・小沢温編著（2005）『障害者福祉論』、放送大学教育振興会、（8-10 章分担）
- 清水寛編著（2004）『セガーン知的障害教育・福祉の源流 1』、日本図書センター、（ト 2 分担）
- 日本特別ニーズ教育学会編（2004）『特別支援教育の争点』、文理閣、（2 章分担）
- 中村満紀男編著（2004）『優生学と障害者』、明石書店、（V 章分担）
- 加瀬進（2004）「学びあい、育ちあう性教育をめざして」、保健室、NO.111、3-11.
- 知的障害者ケアマネジメント研究会監修（2003）『第 3 版・障害者ケアマネジャー養成テキスト—知的障害編』、中央法規、（Ⅱ部 1 章分担）